

銘柄分析レポート：オフィスビルの 2012 年問題

1. はじめに

今、株式市場では悪材料に事欠きません。

その中の一つに「オフィスビルの 2012 年問題」があります。今年は、東京 23 区にて、大量のオフィスビルが完成するため、需給が悪化するのではないかと懸念です。

不動産業界は、景気低迷による空室率上昇と賃料低下に苦しんでいます。新しいビルの供給により、さらなる収益悪化の恐れがあります。

今回の銘柄分析レポートでは、逆境に直面している不動産業界の中から、好対照の 2 社を取り上げます。

★東京 23 区新規供給量と空室率の推移

